工 事 監 査 等 の 結 果

1 監査の日

令和6年10月11日

2 監査の対象工事

配水管布設替工事

3 監査の実施方法

公益社団法人大阪技術振興協会に専門技術士の派遣を要請し、同振興協会の工事技術調査結果に基づく監査を実施した。

監査の内容は、監査対象工事の計画、設計、積算、契約、施工管理、監督、品質、安全管理などの各段階における技術的事項の実施態様について、関係図書類及び現場施工状況の調査を通じて検分し、評価するとともに、改善是正を要する事項については、改善及び再発防止に向けた措置を求めた。

4 監査時点における工事の進捗状況

実施出来高（令和6年9月末日現在）

14.0%（計画：21.3%）

5 監査結果

書類調査、現場施工状況調査を通じて、良好な実施状況であった。各種届出書や施工計画、施工段階確認検査、工事報告書など、書類は整備されていた。

今回は、全体のサンプリング監査であり詳細まで検証することができなかったが、施工管理（工程内検査、段階検査）は、工事監督員の指導的立場が発揮され適正に実施されていた。

しかし、以下のとおり、改善を要する事項が見受けられた。今後の事業実施にあたっては、これらに十分留意し、その措置を講じられたい。

(1) 工事現場審査

ア 施行計画書に関して

(ア) 現場安全管理の体系図の「総括安全衛生責任者等」は、「統括安全衛生責任者に準ずる者」と記載されたい。

【愛知県土木工事現場必携 2-49 P68】

(イ) 「最新版愛知県土木工事現場必携」に準拠し、施工計画書中「緊急時の体制及び対応」を訂正されたい。

【愛知県土木工事現場必携 2-64 P83】

イ 安全管理に関して

開削箇所の上部舗装版が地山崩壊し浮いている場所があるため、マーキング等で視認しやすい方法を取り安全作業に努められたい。